



放送大学栃木学習センター とちの实 Tochinomi



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

間もなく2018年度第2学期単位認定試験を迎えます。

厳しい寒さが続いておりますので、

風邪を引かぬよう気をつけてしっかり準備をしてください。

今年もまた、私たち栃木学習センター職員一同は
全力を尽くして皆様の勉学をサポートしていく所存です。

何卒よろしくお願いいたします。

放送大学栃木学習センター職員一同

目次

巻頭エッセイ (井本所長)・・・P2

●面接授業が変わります・・・P3

新名誉学生紹介・・・P4

メッセージ (卒業生)・・・P4～5

単位認定試験・・・P6～7

次学期の準備・・・P8

●図書の貸出終了のお知らせ・・・P9

学習相談日・・・P9

サークル、夕方カフェなど・・・P10～11

特別ゼミ案内・・・P12～14

キャンパスカレンダー・・・P15

Wi-Fi 利用申請 (新研修)・・・P16

●はすでにお知らせ済みですが、とくに重要ですので、あらためて掲載します。

【 面接授業のこと 】



栃木学習センター所長、宇都宮大学名誉教授
井本 英夫
【無機化学】

所長になってもうすぐ3年である。その間、毎年悩んでいるのが面接授業の立案である。栃木学習センターでは、年に38の面接授業を開講している。学生諸氏からの多様な要望に応えるため面接授業の数を増やしたいが、講義室が2つしかないことや、事務的な処理能力を考えると、このあたりが限界である。例年、本部から専任教員による授業が3つ通知されてくるので、残り35の授業をセンターで計画している。計画を立てるのは、その前年度の4~6月で、客員教員と何度か相談して決めている。講師をお願いして断られる場合もあり、すべて計画通りとはいかない。なお、面接授業の開講は本部の委員会で審査されて決定するので、勝手に開講するわけではない。

面接授業の計画立案でまず考えるのが予想される受講者数である。決まった数しか開講できない以上、多くの人の要望に合わせたい。それに、放送大学の予算は年々減少しており、受講者はある程度確保したい。受講者数を考えると、同じ講師をお願いするのは4、5年空けてからがよい。5年間で一巡するなら、175名が必要となる。実際には、もっと短いサイクルで開講する授業もあり、必要数はこれより少ないが、できれば150名程度は確保したい。宇都宮大学と作新学院大学の専任教員数の合計は400名を超えるのだが、そのうちの50%を占める工学系・農学系の教員の専門分野は、そもそも興味をもつ学生数が少なく、さらに、初歩から順を追って学んでいかないと理解できない分野、つまり面接授業向けではない分野が多い。また、それ以外の約200名の教員も、すべて講師をお願いできるわけではない。面接授業向きではない分野を専門とする人も多し、半年後の開講日程を確実に守ってもらえそうにない多忙の人もいる。そもそも、受講者数や授業アンケートなどから考えられる適切な分野割合と2大学の教員の分野割合とは大きく異なる。したがって、他の大学の先生にもお願いしなければならないのだが、全く知らない人に面接授業をお願いするのは大変でもあり、危険でもある。このため、毎年、2人ぐらいしか他大学の先生にはお願いしていない。

このように悩ましい作業を毎年やっているわけだが、いろいろな分野の人と接することができるのは楽しみでもある。放送大学や面接授業の説明をしたあと、その先生の専門について少しお話を聞くと、その分野に何となく親しみが持てるようになる。

実は、私自身も、来年度の面接授業を担当する。化学の入門となるような話をしたいのだが、化学はいろいろな事実やものの見方が絡み合った複雑で、かつ曖昧な学問で、どこから話を始めればよいか考えあぐね、なかなか授業計画が立てられない。面接授業は頼むのも、行うのも難しい。(受講するのも大変でしょうが。)

2019 年度第 1 学期より面接授業が変わります！

授業時間の変更

総実授業時間(675分)を確保するため、原則として1コマの授業時間が85分から90分に変更となります。

◎授業開始が9時50分となりますので遅刻に注意してください。

北関東ブロック 2019 年度以降の時間割
(栃木、群馬、茨城、長野、新潟、山梨)

- 1 時限 9:50~11:20
- 2 時限 11:30~13:00
- 3 時限 13:50~15:20
- 4 時限 15:30~17:00

成績評価が6段階に

成績評価が放送授業、オンライン授業と同じく、合・否⇒A~Eの6段階に変更となります。3回以上欠席の場合は、評価を行いません。(「-」と表記)



- Ⓐ 基準を大きく超えて優秀 100点~90点
- A 基準を超えて優秀 89点~80点
- B 望ましい基準に達している 79点~70点
- C 単位を認める最低限の基準に達している 69点~60点



- D 単位を認める最低限の基準を下回る 59点~50点
- E 基準を大きく下回る 49点~0点

シラバスに準備学習が記載されます

シラバスに面接授業「受講前の準備学習等」について記載されます。

- 例 ・『〇〇〇』を事前に読んでください。講義の中で質問し、論議します。
- ・〇〇という問いに答えられるようにしておいてください。

レポートや小テストなどがあります

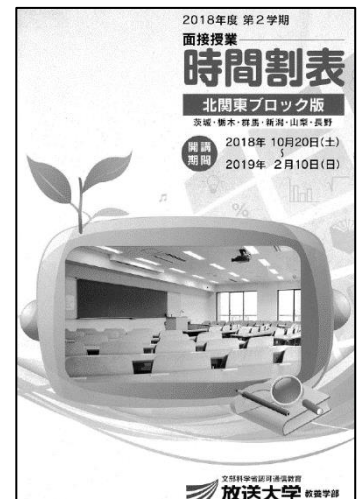
今までも多くの授業で小テストやレポートがありましたが、来年度よりすべての授業で小テスト、レポートなどが実施されます。これにより、重要な点を再び振り返ることができます。各授業で実施される内容は、シラバスの「成績評価の方法」に記載されています。



シラバスは、冊子「面接授業時間割表」の他、ホームページで公開しています。科目選びの際及び授業開始前に必ず確認してください。

←放送大学 HP

冊子→



新たに名誉学生が誕生

名誉学生

関崎 正さん 渡邊 幸雄さん

平成 30 年度第 1 学期、栃木学習センターから教養学部生 33 名が卒業されました。この中から、名誉学生が新たに 2 名誕生しました。

関崎 正さん (54 歳)、渡邊幸雄さん (83 歳) です。名誉学生は、教養学部の全てのコースを卒業された方で、栃木学習センターでは澤田ソノさんに続く快挙です。

また、生涯学習奨励賞 (卒業回数が 3 回以上) には、今回 5 名の方が受賞されました。職員一同、心よりお祝い申し上げます。

学位記授与式・入学者の集いでは、名誉学生になられた関崎さん、渡邊さんのおふたりからご挨拶を頂きました。卒業生の喜田哲郎さん、明石美由保さんからも新入生の皆さんへ素敵なアドバイスを頂きました。

卒業生からのメッセージ

6 コース目の卒業を迎えて

情報コース 関崎 正

学びの形は人それぞれ異なります。アメリカ合衆国 16 代目大統領リンカーンの次のような言葉があります。「何歳まで生きたかは重要ではない、いかにして生きたかが重要だ。」これは多様な学びに対応できる放送大学の特性と重なる部分を感じられる一節です。

私の学びは「臨機応変」に尽きるものでした。私の入学当初の目標は「10 年をかけて卒業する」ことでした。この「卒業する」という言葉は当然 1 コースのことでした。そして学びを重ねた結果として、14 年間で 6 コースの学位記を手にするに至りました。6 コース目を修了し、学びについて感じられたことは、自分が想定していない方向へ進んだときに会える風景は、全く新しい視点から捉えられるものであるということでした。そして常に問題意識を持つことも、学びを進める上で大切な要素となるでしょう。新入生の皆様、それぞれの目標に向けて、より良い学生生活をお送りください。

6 コースを卒業して

情報コース 渡邊 幸雄

古希を前にボケ防止には勉強だと思い入学した。14 年間勉強して 6 コース目を卒業した。これからは選科履修生に再入学して勉強を続けるつもりだ。単位取得は厳しく合格の近道は無い。若い頃の受験生のように試験開始の直前まで通信指導等を復習した。

私は太平洋戦争が始まった年に国民学校一年生、三年生で集団疎開した経験を持つ世代である。放送大学の学習は充実していた。インターネットで受講し、半年毎に単位認定試験を受けるパターンで勉強したので高齢者にありがちの「時間をもて余す」ことがなかった。リタイヤしてから 20 年余り勉強できるのは幸せだ。これは日本の平和が続いているからである。混乱の時代を生きた一人として、平和が永く続くことを願い、私が出れることをしていくつもりだ。

卒業生からのメッセージ

卒業生からのアドバイス

心理と教育コース 明石 美由保

私は、2014年10月に心理と教育コースの全科履修生として3年次編入で入学しました。直接のきっかけは、小学生の子どもが転校先の学校に馴染めず学校不適応になったことでした。特別支援担当の先生方と相談を重ねるなかで、先生方の共通する何かがあると感じ、それは大学で心理学を専攻しておられた経緯と繋がっているのではないかと考えました。私自身は、本当は4年制大学に進学したかったこと、高校生の頃には大学で臨床心理学を勉強してみたいと思っていたことを鮮やかに思い出しました。とある先生が「放送大学なら通信制で臨床心理学が学べますよ」と教えてくださいました。その時、20年以上前にあっさり諦めた夢を今なら叶えることができるのだと思いました。私は出産を機に仕事を辞めて以来、自分が何かを専門的に学ぶことは考えたこともない人間でした。放送大学で学んだ4年間で、学ぶ楽しさや成長している実感を感じることで自分で自分を充たすことができるのを知ったと思っています。

今期から、修士科目生になりました。新しく学びはじめる皆さんもそれぞれにご自分らしい方法を編みだして、放送大学での学びを楽しんでください。

困難を乗り越えて

人間と文化コース 菊地 敬子

この度、放送大学を無事卒業できることを、心から嬉しく思います。

私が放送大学に入学したのは、今から7年前の東日本大震災があった年です。初めは、私に出来るのか、ちゃんと卒業出来るのか、不安で一杯のスタートでした。いざ始めてみると授業内容も興味深く、特にスクーリングでの生の授業は、時間を忘れる程楽しいものでした。順調に進んでいた矢先、家事都合で1年間休学を余儀なくされ更に病気が発覚し、一時は勉強も手に付かず、やめてしまいたい時期もありました。諦めずに続けてこられたのも家族の励ましと支えがあっての事だと思います。放送大学で学んでいる方の中には、仕事が忙しくなかなか時間が取れない人、子育て中の人、病気を抱えながら頑張っている方もいるとは思いますが、最後まで諦めず、卒業目指して頑張ってください。応援しています。

卒業にあたっての思い

社会と産業コース 喜田 哲郎

60歳の還暦を迎えた年に第二の人生をどう生きようかと考えたとき、なんでも知りたがりやの私はどんなに知識を得るために今まで苦手だった勉強をすることを考え、知りたいことは何でも勉強してやろうと考えました。気象、福祉住環境、ファイナンシャル、不動産、法律などを勉強しましたが、それぞれの目標のまとまりがつかず、少々悩んでいたところ放送大学と出会いました。300以上もの科目があり興味のあるものがたくさんありました。目標もまずは科目単位をとることから卒業することまで個々に作ることができます。「エキスパート」などの目標もあります。科目選択をするときは費用を考えるといつも多すぎて減らすのに困ります。6度目の年男となった今年、卒業することとなりましたが、まだまだ知りたいことがたくさんあり再入学することを決めました。全コース制覇しようかという気持ちも出てきました。放送大学は終生の友となることでしょう。

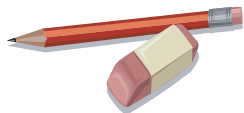
卒業にあたって

生活と福祉コース 益子 智宏

放送大学をいよいよ卒業となりました。入学した頃は「ついていけるかな？難しいんだろうな。」とワクワク感とドキドキ感が交錯していたことを覚えています。最初の新学期は無理しないように2科目から始めました。そして、1科目あたりの学習の流れを掴むために一日あたりの学習量、学習時間を意識して勉強をしました。その後、何とか単位を修得できたので次学期は4科目に挑戦しました。さすがに前学期よりも身体的、精神的に参り、クタクタになり、毎日晚酌（疲労回復目的）をしていたことを覚えています。でも、歳を取るに連れて学ぶことが楽しくなります。教科書のページをめくれば新しいことに出会い、吸収し、今後の生活にどう活かすのか？自分なりに考える。この作業が、また楽しいものです。その積み重ねが自分を成長させるようです。どうか皆様も頑張ってください。豊かな生活を送るほど、豊かな人生が待っていると思います。ありがとうございました。

2018年度第2学期 単位認定試験について

通信指導問題に合格した学生には「**単位認定試験通知（受験票）**」が届きます。

試験日程	<p>【夏季集中看護（再試験）】 1月24日(木) 【大学院】 1月24日(木)、1月26日(土) 【教養学部】 1月25日(金)～2月2日(土)</p> <p> 1月28日(月)、2月1日(金)、2月3日(日)は 学習センター閉所日です。</p>
センター 開所時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【通常期間】 9:00～17:30</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【単位認定試験期間】(1月24日～2月2日) 8:45～18:45</p> </div> <p>窓口対応について： 試験期間中は、証明書発行等の窓口対応ができないことがあります。ご了承ください。 また、時間を要する学習相談等は後日にしていただくよう、お願いいたします。</p>
試験会場	<p>■栃木学習センター試験会場 《1階》演習室Ⅱ 《2階》大講義室、小講義室 ※受験票に会場名が記載されていますのでご確認ください。 ※入室前に、試験室入口近くに掲示した座席表をご確認ください。 1つの試験室で複数の科目の試験を実施します。</p> <p>■試験開始10分前には入室してください。 試験開始前に注意事項の伝達や試験の説明を行います。</p> 
試験に 必要なもの	<p>①学生証 学生証をまだ受理していない学生は、速やかに事務室で交付を受けてください。</p> <p>②受験票 試験日の約1週間前までに「単位認定試験通知（受験票）」を送付します。 *1月17日になっても到着しない場合、あるいは紛失した場合 → 大学本部 TEL:043-276-5111(総合受付)へお申し出ください。</p> <p>③筆記用具 HB黒鉛筆、消しゴム</p> <p>④持込み許可物品 科目により印刷教材等の持込みが認められることがあります。持込み許可物品は試験の約1ヶ月前にシステム WAKABA（キャンパスライフ→学内連絡）、学習センター廊下に掲示します。また受験票送付時にもあわせて通知します。 ※試験問題の出題形式（択一式・記述式・両者併用式）についても同時に通知します。</p>



受験には学生証が必要です！

学生証をまだ受けとっていない学生は、速やかに事務室で交付を受けてください。

お手元の学生証は
有効期限が切れていませんか？

※有効期限が切れている学生証をお持ちの方は事務室までお越しください。



※試験期間は窓口が混雑します。

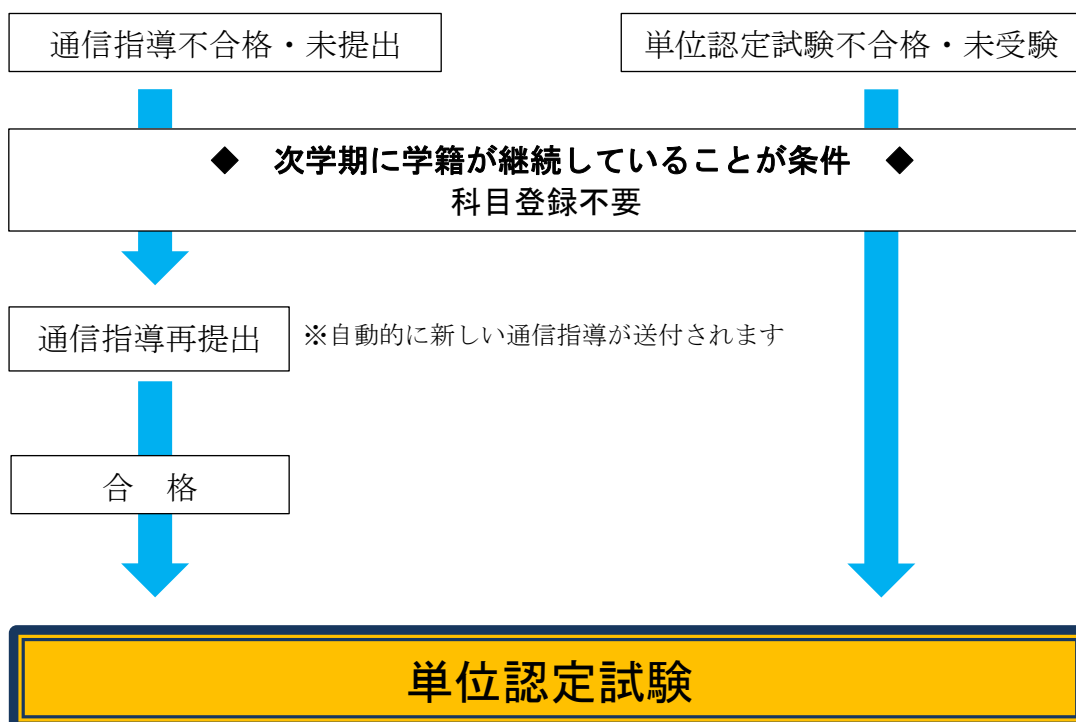
試験当日に学生証を受けとりたい方は時間に余裕を持ってご来所ください。

再試験について

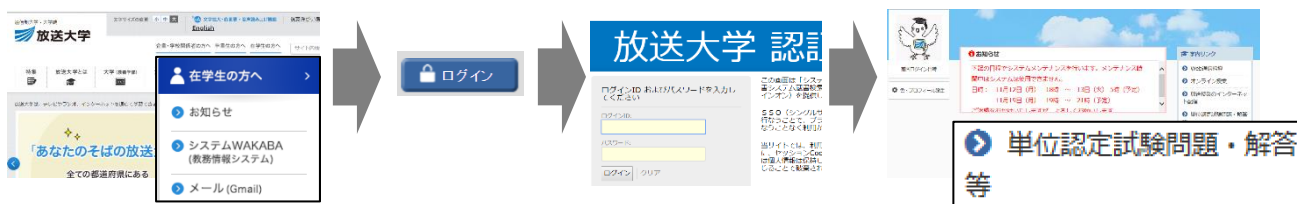
通信指導が不合格となった場合、または試験を受験できなかった場合は、**次の学期に限り**、科目登録を行わなくても単位認定試験を受験することができます。(ただし、次の学期に学籍が継続していることが条件です。)なお、再試験にかかる授業料は不要です。

■**今学期で在学期間が終了する方が次学期に再試験を受験するためには、再入学（出願）の手続きが必要**になります。

※詳細は「学生生活の葉」（教養学部 P74、大学院 P6）参照



過去の試験問題をみてみましょう！ ホームページ <https://www.ouj.ac.jp/>



在学生の方へ→システムWAKABA→ログイン→ID:学生番号数字10桁(ハイフン除く)、パスワード:初期は西暦生年月日数字8桁でログイン→学内リンクの単位認定試験問題・解答等→PDF版で公開しています。

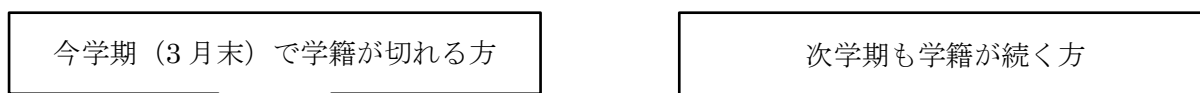
次学期の準備

次学期の準備（継続入学・科目登録）のため、対象者には大学本部より各要項が届きます。

送付時期 継続入学関連書類：1月上旬 科目登録申請要項等：1月中旬

出願及び申請の際には、各要項及び『学生生活の葉』（学部P59～61・大学院P53～59・P85）を必ず熟読の上、お間違えの無いよう手続きをしてください。

なお、継続入学出願、科目登録申請ともに、システムWAKABAからも手続き可能です。



	継続入学出願	科目登録申請
申請期間	郵送 継続入学関連書類が届き次第 ～3月17日（日）本部必着 WAKABAからの出願期間 ～3月17日（日）24時まで	郵送 2月13日（水）～2月27日（水） 本部必着 WAKABAからの申請期間 2月13日（水）9時～2月28日（木）24時まで
注意事項	◇次学期に再試験のみを希望される場合は、科目登録欄右側の「今回は通信指導の再提出又は再試験のためだけの出願である。」に○印をつけてください。 ◇今学期の試験で全ての科目が合格となった場合は、自動的に出願が無効になります。 ◇選科・科目履修生が、初めて全科履修生に出願する場合、「継続入学用出願票」では出願できません。『2019年度第1学期学生募集要項』を本部又は学習センターへ請求し、出願してください。（なお、システムWAKABAからは全科履修生への出願が可能です。） ◇継続入学申請書類が1月中旬までに届かない場合	◇学部生で、次学期の面接授業登録を希望される場合は、併せて申請を行ってください。 ◇「科目登録申請票」で申請される場合は、必ず申請期間内に本部に到着するように、余裕をもって申請してください。また郵送の場合、提出後の科目登録変更、追加、取り消しはできませんのでご注意ください。 ◇「システムWAKABA」からの科目申請の場合は、科目登録申請期間中は登録科目の変更、追加、取り消しが可能です。（ただし、全ての登録科目の取り消しはできません。） ◇科目登録申請書要項等が2月5日までに届かない場合
TEL : 043-276-5111（総合受付）に問い合わせ		

※集団入学または共済組合を利用して入学された方には、継続入学用出願票は送付されません。



来年度から、学習センター図書の貸出がなくなります！

放送大学では、全国のほとんどの学習センターで、2018年度末をもって、図書の貸出を終了します。このため、図書の貸出は、来年度から本部にある附属図書館へ申し込むことになります。

栃木学習センターに借り出して読みたい本がある場合には、早めに借りておいてください。

来年度以降の蔵書の扱いは学習センターにより異なりますが、栃木学習センターでは、ほぼすべての図書を残す予定で、4月以降も図書・視聴学習室での図書の閲覧はできます。

◆放送大学附属図書館（本部）の図書の取り寄せはこれまでどおり行う予定です。

■ 図書・視聴覚室閉室日のお知らせ 3/22（金） ・ 4/7（日）

図書整備のため

入学者の集いのため



学習相談日程（1月～3月）



主に毎週土曜日（13：00～17：00）に学習相談日を設けています。学習相談をご希望の方は「学習相談申込書」を記入のうえ事務室までお申込みください。

※教員の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※手続きの詳細につきましてはセンターホームページまたは事務室までお問合せください。

※教員や相談内容により事前に予約が必要な場合があります。

教員名・現職	専門分野	相談日
相田 吉昭・宇都宮大学教授	地質学・古生物学	1/12・2/9・3/23
出羽 尚・宇都宮大学准教授	美術史・イギリス文化論	1/12・2/9・3/9
佐々木 和也・宇都宮大学教授	衣生活環境学・繊維工学	1/5・2/9・3/9
司城 紀代美・宇都宮大学准教授	心理学・特別支援教育	1/12・2/23・3/9
長谷川 光司・宇都宮大学教授	感性情報工学・音響工学	1/12・2/16・3/16
日高 茂暢・作新学院大学准教授	生理心理学・特別支援教育	1/12・2/17・3/3
マリー ケオマノータム・宇都宮大学教授	社会学	1/12・2/16・3/9
横田 和隆・宇都宮大学教授	ロボット工学	1/5・2/9・3/9
井本 英夫・栃木学習センター所長	無機化学	随時対応

専門分野とは各教員の核となる分野であり、これよりずっと広い分野の学習相談に応じることができます。

放送大学栃木学習センター友の会・同窓会共催

第12回「夕方カフェ」を開催します

単位認定試験最終日に、第12回「夕方カフェ」を開催します!!!
学生同士交流を深めながら、試験からの解放感を分かち合いませんか?
たくさんのご参加をお待ちしています。

【日時】2月2日(土) 17時20分～19時20分(開場 17時～)

【場所】宇都宮大学 UUプラザ2階(宇都宮大学の正門を入れてすぐ右側の建物です)

【内容】軽飲食、懇談、アトラクション(お楽しみに)

【参加費】500円(当日、受付で集金します)

【申込方法】1月30日(水)までに事務室窓口備付の名簿にご記入ください。

詳細は事務室窓口にチラシが置いてありますのでご覧ください。

(※ご不明な点は、栃木学習センター事務室(TEL:028-632-0572)まで)

【備考】当日は「栃木学習センター友の会」新規入会も同時に受付します。

入会希望者は、別途500円をご用意ください。



放送大学栃木学習センター サークル合同

秋のウォーキング 報告

10月21日(日) 新入生歓迎 秋のウォーキングを行いました。

参加者は所長を含めて7名でした。

初めに中央公園(宇都宮市睦町)を散策して、

植物に詳しい方の説明を受けてから、県立博物館のテーマ展

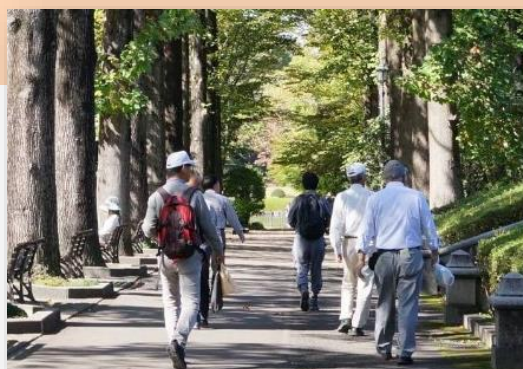
「ジョージ・ルイスと武田久吉—明治日光の昆虫・植物研究の先人—」を見学しました。

公園の芝生に座って昼食、午後1時に公園を出発し美術館に向かいました。

美術館では茂木町出身の羽石光志の歴史画特集を見学して、

現地解散しました。入場料は学生割引で合計220円です。

楽しい半日を過ごしました。



井本所長とランチ 報告



平成 30 年 10 月 27 日（土）井本所長と学生有志でランチ会（学生サークル「放送大学栃木学習センター友の会」主催）を開催しました。面接授業の休憩時間に十数名が参加。井本所長を囲み、大学への要望など意見が活発に出されました。学生同士が直接接する機会が少ない放送大学ですが、栃木学習センターではこのような会が定期的に行われておりますので、奮ってご参加ください！！

次回の「所長とランチ」もお楽しみに☆

日時が決まり次第、「とちの実」やホームページ、栃木学習センター学生用掲示板にてお知らせいたします。



研修旅行 報告

平成 30 年 9 月 22 日（土）学生研修旅行（群馬方面）に行ってきました。最初の目的地「卯三郎こけし」では絵付け体験をしました。次に訪れたのは、「水澤観世音」です。六角堂では内部に回転する六地藏尊があり、三回転すると願いが叶うそうです。お昼は日本三大うどんで有名な水澤うどんをいただきました。午後は、世界遺産「富岡製糸場」へ。当時の建築方法や女工さんの様子などについて説明を受けながら見学を楽しみました。最後は「こんにやくパーク」に立ち寄りしました。





特別ゼミのご案内【2018年度第2学期】

特別ゼミは、栃木学習センター所属の客員教員から直接指導を受けることのできる少人数のゼミ形式による勉強会です。正規の単位にはなりません。より深い学習を進めていただくことを目的として毎学期実施しています。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

【参加資格・注意事項】

- (1) 栃木学習センターに所属している学生（学生種別は不問。ただし休学者は除く。）
- (2) 受講料は**無料**です。（材料費の実費等が必要な講座があります。）
- (3) 登録ゼミ数の制限はありません。
- (4) 正規の単位としては認められません。

申込方法

＝申込み＝

事務室窓口・TEL (028-632-0572)・FAX (028-632-0570)

※お申込みの際は氏名、学生番号、希望のゼミ名、連絡先（電話番号）をお伝えください。

＝受付期間＝

1月9日（水）～ 各ゼミ開講初日の1週間前まで

※全ゼミ先着順（定員になり次第、締切）

**2学期は多種多様な6つの特別ゼミを開講します。
先着順ですので、申し込みはお早めに！！**



①騒音について考える

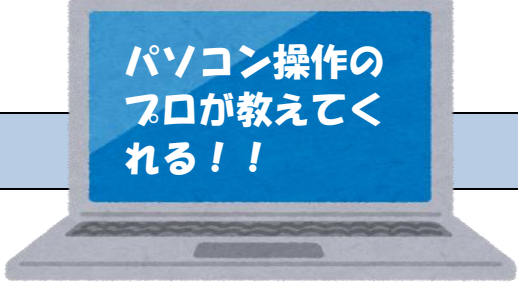
講師：長谷川 光司（はせがわ ひろし） [専門分野／感性情報工学、音響工学]

本ゼミでは、まず、音波の性質の基礎的な事項の解説を行います。次に、騒音とは何かについて学習します。そして、最後に、様々な場所（例えば、教室内や道路付近など）における騒音を実際に測定し、あらためて騒音について考えてみます。

音に興味のある方、騒音が気になることがある方は、是非、受講して下さい。

日時	2月10日(日)	9:30～17:30	定員	8名 先着順
会場	宇都宮大学陽東キャンパス 工学部2号館222番教室			
持ち物	特になし			

②伝統染織を科学する				
講師：佐々木 和也（ささき かずや） [専門分野／衣生活環境学、繊維工学]				
伝統的な染織には先人の様々な知恵が込められており、それを現代科学によって再認識することで、「着る」ことの意味を考えます。ゼミでは、染色（藍染）と織物（裂織り・模様織り）を取り上げます。				
日時	2月16日(土)	9:00~16:00	定員	10名 先着順
会場	宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟2F 衣生活環境実験室・被服実習室			
持ち物	染色布代1,000円前後、染色時の防汚のためのエプロン等			

③初心者へのパソコン教室				
講師：パソコン教室 ^{グリーン} Greeny				
 <p>これまで本ゼミに出席された方を中心に、既に学んだ内容を発展させ、さらにパソコン操作のレベルアップを図ります。このゼミでは、初心者にはパソコン操作を教えるプロの「パソコン教室Greeny」の講師が、分かりやすく教えてくださいます。</p> <p>今回は、カレンダーや自分史、自治会のお知らせ作成など、時間の許す限り生徒さんオリジナルの作品を作っていきたいと思います。</p>				
日時	① 2月23日(土)	10:00~12:00	定員	5名 既受講者中心
	② 2月24日(日)	10:00~12:00		
会場	1階 演習室I			
持ち物	USBメモリ（お持ちでない方は事務室で貸し出します。）			
特記事項	・原則、両日参加できる方			

④酸素を測ってみる

講師：井本 英夫（いもと ひでお） [専門分野／無機化学]

生物は酸素を消費して生きています。その酸素を補給しているのは、植物の光合成です。普段の生活を見ると、使い捨てカイロは鉄と酸素の反応で発熱し、酸素系漂白剤は酸素を放出して汚れを分解しています。私たちの身の回りでは、酸素の出入りを伴う反応が絶えず起こっていますが、酸素は見えないし、臭わないので、気がつきません。このゼミでは、酸素の濃度を測定器を使って測ってみるので、酸素のかかわる化学反応を実感できるはずです。

日時	2月23日（土）	13:00~17:00	定員	8名 先着順
会場	1階 演習室Ⅱ			
持ち物	電卓（携帯電話の電卓機能でも可）			

⑤映画をとおしてタイの社会と文化を考えよう

講師：マリー ケオマノータム [専門分野／社会学]

タイの社会と文化について、日本との比較もまじえて考えます。
タイ映画「すれ違いのダイアリーズ」(2014)を観て、タイ料理を食べながら、自由に感想を語り合い、タイ社会と文化についての理解を深めます。

日時	3月10日（土）	9:30~17:30	定員	10名 先着順
会場	2階 小講義室			
持ち物	食事代（タイ料理）2,000円程度			

⑥心理学の世界に触れるー心理学を活用した子どもの理解と支援

講師：司城 紀代美（しじょう きよみ）[専門分野／心理学、特別支援教育]

心理学を活用して困難を抱える子どもたちを理解し支援することについて考えます。子ども向けの心理検査や知能検査、学習に困り感を抱える子どもへの認知トレーニング、言葉以外の方法で自分の内面世界を伝えるコラージュ等を体験しながら学びます。

日時	未定	9:30~17:30	定員	16名 先着順
会場	2階 小講義室			
持ち物	はさみ、のり、切り抜いてもよい雑誌やチラシ（用意できる方のみ）			

:. ○ *Campus Calendar. ○ *:*. .

月	火	水	木	金	土	日
31	1 元旦	2	3	4	5 A,B	6 A,C
7 成人の日	8	9	10	11	12 B,D	13 C,D
14	15	16	17	18	19 センタ 一試験	20 センタ 一試験
21	22	23	24 ★	25 ★	26 ★	27 ★
28	29 ★	30 ★	31 ★	1 臨時 閉所	2 ★	3 臨時閉 所
4	5	6	7	8	9 E	10 E ①
11 建国記念の日	12	13 ※	14	15	16 ②	17 ∞
18	19 ◆	20	21	22	23 ③④	24 ③
25 宇大個別 学力検査	26	27	28	1	2 ■	3 ■
4	5	6	7	8	9	10 ⑤
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 春分 の日	22 =	23 ♪	24
25	26	27	28	29	30 ●	31

灰色塗りつぶしは閉所日です。(月曜、祝日等)

- A 面接授業「中国の農村社会」
- B 面接授業「界面の化学」
- C 面接授業「道德教育と授業」
- D 面接授業「伝統染織からみた衣生活の展望」

- ★ 単位認定試験 (大学院・
夏季集中看護再試験 1/24 のみ)
- ★ 単位認定試験 (学部)

- E 面接授業「基礎から学ぶ中国語」
- ① 特別ゼミ「騒音について考える」
- ② 特別ゼミ「伝統染織を科学する」
- ※平成 31 年度第 1 学期科目登録申請開始
郵送：～2/27 (私書箱必着) WEB：～2/28
- ∞ 全体説明会・入学相談会(栃木学習センター)2/17
- ◆ 成績通知発送
- ③ 特別ゼミ「初心者へのパソコン教室」
- ④ 特別ゼミ「酸素を測ってみる」

- 教員免許更新講習修了認定試験
- ⑤ 特別ゼミ「映画をとおしてタイの社会と文化を考えよう」
- ⑥ 特別ゼミ「心理学の世界に触れる」日時未定

= 図書・視聴学習室閉室
♪ 学位記授与式 (NHK ホール)

- 平成 30 年度修士論文・卒業研究発表会
(放送大学生は誰でも参加できます。)

2019 年度第 1 学期 入学者の集い：4/7 (日)
図書・視聴学習室閉室

W i - F i 利用申請について

栃木学習センターでは、図書・視聴学習室や談話室等で無料W i - F i を利用する事ができます。ご利用には申請が必要となります。下記の内容をご確認の上、学習センター窓口で手続きをしてください。I Dとパスワードをお伝えします。ご自分のパソコン等で学習することができます。



※情報セキュリティー研修が新しくなりました。既に申請を済ませている方も来年度、引き続き利用する場合は受講の対象となります。必ず今学期末までに受講して「修了証」をご提示ください。

◎情報セキュリティー研修を必ず受講してください。

システムWAKABAトップ画面、学内リンクの「放送大学自己学習サイト」より研修受講を登録します。受講後「小テスト」に合格すると「修了証」が表示されます。これをセンター窓口までご提示願います。

◎確認事項（申請書に記入）

1) メーカー名、2) 型番、3) OS・バージョン、4) ウィルス対策ソフト、5) セキュリティー対応

◎設定はすべてご自身で行ってください。

放送教材の郵送貸出しサービスについて

B S放送が受信できない、またはインターネット環境が無いなど放送授業の視聴が困難な場合は、大学本部から放送教材（CD・DVD）を郵送にてご自宅に取り寄せることができます。詳しくは、利用の手引き（A4版冊子）P11、または学生生活の栞・教養学部（A5版冊子）P33をご覧ください。

放送大学栃木学習センター

■開所時間：【通常期】9：00～17：30

【単位認定試験期間】8：45～18：45

■閉所日：月曜・祝日休 ※臨時閉所日 1/19（土）、1/20（日）、2/1（金）、2/3（日）

〒321-0943 宇都宮市峰町 350（宇都宮大学峰キャンパス内）

【HP】<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tochigi/>

【TEL】028-632-0572 【FAX】028-632-0570 【E-mail】tochigi-sc@ouj.ac.jp

※「とちの実 第111号」は12月現在で栃木学習センターに在籍している学生にお届けしています。

次号は4月上旬発行予定です（「とちの実」は年4回発行）。